

2010年12月資料展示

<海老沢有道文庫より：讃美歌（聖歌）集>

今年は、海老沢有道名誉教授（えびさわ・ありみち 1910-1992）の生誕100年にあたります。海老沢先生は尼崎市に生まれ、同志社大学文学部に入学後、立教大学文学部予科3年に編入、文学部史学科を卒業、同志社高等女学校教員、立教中学校教員をへて復員後、1949年から聖心女子大学教授、1960年より立教大学教授、1976年からは国際基督教大学で教鞭を取られました。

著書には、『キリシタン史の研究』（1942）、『南蛮学統の研究』（1958）、『日本の聖書』（1964）などがあり、キリスト教史学会理事長などを歴任、1988年にはキリスト教文化功労賞を受賞されました。キリシタン史、日本語訳聖書研究の第一人者で、没後に蔵書が立教大学図書館に寄贈されています。

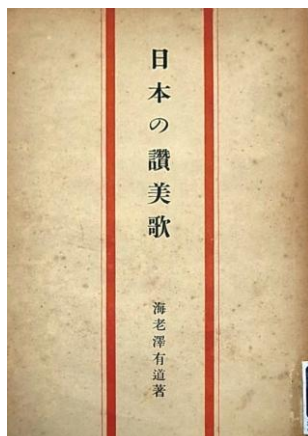
展示した資料のなかで『讃美歌の歴史』は、父親で牧師の海老沢亮（あきら）氏が海老沢先生の生まれた1910年に著したものです。立教大学図書館に寄贈された「海老沢文庫」（※新座保存書庫に所蔵されています。）の約5,000冊中には、切支丹史、日本のキリスト教史、和訳聖書に関する資料などが含まれていますが、讃美歌（※日本聖公会では「聖歌」と呼んでいます。）集や、讃美歌に関する図書も含まれています。

立教大学図書館

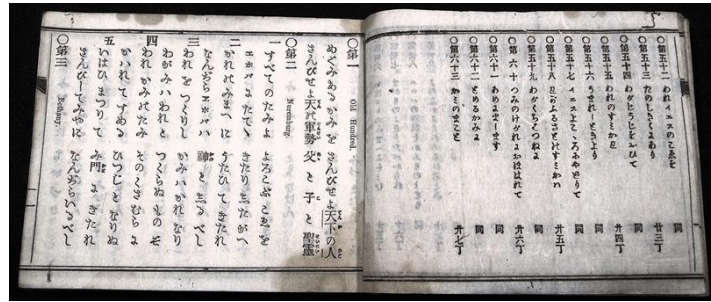
- ※参考文献：『聖書と日本文化』立教大学 1999
『海老沢有道文庫目録』立教大学図書館 1999
『明治期讃美歌・聖歌集成』大空社 1996
『史苑』53巻2号 海老沢有道教授を偲ぶ（海老沢有道先生追悼）1993

<展示資料>

1. 『讃美歌の歴史』海老沢亮著 松本赳増補 教文館 1910
2. 『日本の讃美歌』海老沢有道 香柏書房 1947



3. 『さんびの歌』 W. カーチス編 [神戸]、[神戸教会] [1879.11]
27丁 12×15 cm 和装 帙入り



4. 『たゝへうた』 [出版地不明][出版者不明] [明治年間]
21丁 14×20cm 和装 帙入り

5. 『新撰讚美歌』 植村正久、奥野昌綱、松山高吉編
東京：東京福音社（発売）1888.5
23, 280p, 9×13 cm (Hymns and songs of praise)

6. 『新撰讚美歌』 改訂版 讚美歌委員編
東京 植村正久、奥野昌綱、松山高吉 1890.10 294p 7×11 cm

7. 『青年讚美歌』 讚美歌委員編
東京： 讚美歌委員會 1941.4 [174]p 19cm

8. 『聖教工課』 元享根編
京城：京城府明治町天主堂 1935.7
544p 14cm (本文はハングル)

9. Rodeheaver's gospel anthems, no.8
Chicago, Rodeheaver c1921, 96p 26cm

